



令和元年度
福)五和会
かわね保育園

2月号

< 1月 10日 ♥ ちょっとドキドキ 新年お楽しみ会 >

新しい年になり、6日（月）には、家山の八幡様へ初詣に出かけた子ども達。大きいクラスの子が小さい子と手をつなぎ、個々に会話を楽しみながら行って来ました。みんなで新年を迎えたことを喜び、10日（金）には、お楽しみ会を開きお祝いをしました。



勝山先生による干支のお話し、子年の福笑い、そして獅子舞い。大きな獅子舞いに驚く乳児には、小型の獅子舞いで対応し、幼児と勇気のあるもも組さんは大きな獅子に頭を噛んで貰いましたよ。今年一年、健康で無事に過ごせますように！！



< みんなで食べるとおいしいね・ラーメン屋さん >

同日、2歳以上児は、ラーメンの種類ごとお部屋に分かれました。友達同士席を選んだり、小さい子の隣りに座ってくれたり、席選びから楽しんでいる子もいました。事前に自分で選んだラーメン、「〇〇、これ好き！」「一緒だねー！」「おつゆ、おいしいね！」等、会話も弾み楽しい思い出づくりにもなりました。



< 進級・就学に向けて >

保育園の中で一番小さいMちゃん(1歳5ヶ月)。自分でズボンの上げ下げに挑戦したり、1歳児に交じってパズルをしたり・・・1歳児も2歳児の真似をしたり、その2歳児は、1月下旬より3歳児のクラスに遊びに出掛けたり、幼児はマラソンを通して励まし合ったりと少しずつ次のクラス(年齢)を意識しているようです。5歳児は、明日の県幼児音楽演奏会に向けて園内演奏会を開き全園児、全職員に聴いてもらいました。0歳児もじっと黙って聴いていたほどステキな曲に仕上りました。子ども達から、「きれいな音だけ！」「カッコいい！」「素敵なお演奏だっけ！」等感想をもらい、ますます意欲が高まりました。昨年は、聴く側にいた5歳児。前5歳児の素敵な姿に憧れ、今年は自分達の番！と少しずつ取り組んできました。2月1日、“心の合わせっこ”を楽しめます。後2ヶ月で、進級・就学です。これからも、自分より大きな子の背中を見ながら、“少しだけやってみたい”“やってみよう”的気持ちを後押しし、次への意欲につなげていけたらと思います。



< 「関わりの質を高める」(大人と子どもの会話)に関する講話 高山静子氏(東洋大教授)>

とても驚きのお話だったので、一部をご紹介します。

- ・テレビベビーシッターが、子守。人と関わる時間が奪われている。
- ・スマホベビーシッターは、持ち歩き可能。乳幼児が親と目を合わせて会話をする時間は、増え減っている。
- ・3歳までの貧困な言語環境は、脳のシステムの形成に甚大な影響を及ぼす。
- ・子どもをしかる時、叩く・つねる・蹴るなどの体罰を用いる親 「いつも」「時々」1歳半 50.5% 3歳 67.7%



- ・親が、話しかける言葉が多く、語彙が豊かであるほど、言葉の習得と、IQに良い影響を与える。
 - ・3歳までの言語格差は、9歳、10歳時点の言語スキルや、学校のテストの点数とも相関している。
 - ・**子どもの可能性と脳力を引き出し、脳を育てる上では、保護者の「話し言葉の環境」が、最も効果がある。**
- これからもっともっとICT化が進んでいきます。子どもとの会話を大切に、保護者と職員共に育ていきましょう。



しょくじだより



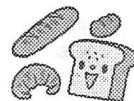
2.1.31
発行



こんにちは、きゅうしょくです。✿✿✿✿✿

1月21日のおやつは、パン屋さんでした。給食室では朝からパン作りを開始、6種類、360個のパンができました。作るのが楽しくて、沢山できましたが、パン屋さんが開店すると、自分で選び、お友だちと一緒に食べました。5、6個食べたお友だちもいました。夕食は食べられたかな？自分で選ぶ、真剣なまなざしがステキでしたよ。

今年度もあと2か月になりました。たんぽぽ組さんはもうすぐ、1年生になりますね。かわね保育園の思い出として、リクエストメニューをチームで考えてもらいました。2月と3月に取り入れていきます。何が出るのかは、お楽しみ！！



『たんぽぽぐみ』リクエストメニュー

2月 4日 かに ちーむ



こうすけ すずな ひな
ゆうく しゅう



13日 おまつり ちーむ

あおい りや そう
ももか れん

20日 さくらともだち ちーむ



げんき しゅうた ひなた
りほ ゆりな

3月 4日 そらこすもす ちーむ

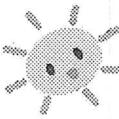
そうすけ かなと まさき
なな あい

12日 さめ ちーむ

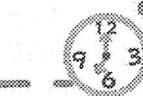
みつね けいた しゅうな
あいり しょうのすけ



朝食と 生活リズムの関係



朝食をしっかりと食べることで、胃腸が刺激され排便の習慣も身につくようになります。朝ごはんを食べるためには、朝ギリギリまで寝ていると食欲が出ないため、早寝・早起きが大切です。毎日、3食決まった時間に食事をとることで規則正しい生活習慣が身につき、子どもの健やかな成長と生活リズムが確立します。また、家族もいっしょに規則正しい生活を送ると、子どもたちにも自然に生活リズムが身につきます。



おやつの役割って？

子どもたちはおやつの時間が大好きです。おやつは子どもにとって「楽しみ」の要素が強く、心の栄養となります。また、子どもは小さな身体に対してたくさんのエネルギーが必要です。しかし胃袋が小さく、一度にたくさん食べられないで、一日3回の食事だけでは必要なエネルギーや栄養素が摂取できません。おやつには、それを補う食事としての役割があります。子どもにとっておやつは大切な食事と考えましょう。





3月号

令和元年度
福)五和会
かわね保育園

< 豆まきて何故するの？ >



節分の日、子ども達は朝から何やらソワソワした様子。ホールに行くとキヨロキヨロと周りを気にする子があちこちに・・・きっと、お家で「保育園にも鬼が来るかもね？！」とお話しされてきたのでは？と思いました。勝山先生のお話が始まると、みんな先生の話術に引き込まれていました。香花を火で灸ると「なんだかいい匂い！」「何のにおい？」「なんで匂うの？」と興味津々。



大喜びで、灸った香花で身体をお祓いしてもらいましたよ。昔からの風習を継承していきたいと思います。

< いい音だねえ ♡ 涙が出ちゃったよ！ >

17日の午後、5歳児がミュージコで演奏した曲を披露。おじいちゃん、おばあちゃんをはじめ、大正琴を寄附してくださった五和のお師匠さんと5人のお弟子さんも聴きに来てくださいました。久しぶりにお客様を前に子ども達は、緊張気味。でも、演奏が始まると指揮者のもと 心が一つになり、ステキな合奏になりました。皆さんから大きな拍手を頂き、ニッコニコの子ども達。様々な場面で、色々な立場の方からの励ましのお言葉やお褒めの言葉は、これから就学する子ども達にとって大きな糧となり自信へと繋がっていくはずです。

お忙しい中、園まで足を運んで下さり ありがとうございました 🥰



< みんなで食べるとおいしいね！ >

玄関ホールにちゃんぶ台を用意すると、午睡等の片付けが済んだ子から順次おやつを食べにきました。「ください！」「これとこれ、ちょうどいい！」等、自分の言葉で伝えることができました。自分で選ぶ、決めるを大切にしています。



デザートバイキング ★ 5種類の中から好きなものを選んだよ ★

ポップコーン屋さん
何回おかわりしたのかな？

< 学校、たーのしいっけ♣ 5歳児 >

ワクワク♪ドキドキの交流。授業体験は、初めて！1年生が、色々なことを優しくその子に合わせて教えてくれたようです。牛乳のパックのつぶし方や塵取りの持ち方など、様々な発見があったようです。後ひと月で卒園ですが、園でできることに挑戦したり、小さい子と遊んだり楽しい思い出を作ってほしいと願っています。これからも、学校を含め地域との交流を大切に活動していきたいと思います。





しょくじだより



2.2.29
発行

こんにちは、きゅうしょくです。

一年は早いもので、3月を迎えます。一年間、ご協力ありがとうございました。

3月は行事食やイベントもいっぱい、たのしい給食にしたいと思っています。

子どもたちにどんなだったか、お話、聞いてみてください。

新しい試みとして玄関ホールでおやつを食べたり、また、給食員が幼児のおへやに配膳に行こうと計画しています。

子どもたちから『おいしかったよ』『ぜんぶたべた』『またつくって』『〇〇きらいだけどきょうたべた』等声を掛けてくれたり、保育士からは『〇〇ちゃんこの間まで食べられなかった〇〇食べました』やお母さんたちがサンプルケースを見て『おいしそう！』『全部食べた？』等、聞くとうれしくなって私たちの力に変わります。

ご意見等ありましたら、声をお掛け下さい。

3月きゅうしょくのイベント



3日
ひなまつり
ランチ

午前中は玄関のお雛様の前で勝山先生のひなまつりのお話の後、昼食は給食で飾りつけしたひなまつり“オムライス”を食べます。おやつは、ひなあられを食べます。お楽しみに！！



13日
そつえんお祝い
パーティー



『おべんとうやさん』を行います。

サンドイッチ、おにぎり、カレーの3種類のお弁当から、自分で1つ選んでもらいます。当日は、お弁当を持って好きなお部屋に行って食べます。ポスターを貼り出します。3日(火)に選んでもらいチケットを分けます。おやつは大好評、お菓子つめ放題です。



たんぽぽ
リクエスト
メニュー



3月は、そらこすもすちーむ、さめちーむのリクエストメニューです。子どもたちがチームで考えたメニューです。当日は自分たちでメニューを放送で紹介します。どんなメニューか楽しみですね。



野菜嫌いを克服！

子どもは野菜嫌いが多いですね。なぜなら、子どもの味覚はとても敏感で、大人が感じるよりも苦く、酸っぱく感じるからです。しかし、子どもは慣れる事により、苦手なものを克服することができます。肉や魚といっしょに加熱調理するとうま味で渋みや苦味が減り、野菜によっては甘くなるなど、苦手な子でも食べやすくなります。ぜひ試してみましょう。

